

奥羽山荘が新装開館 新たな宿泊プランも

大仙市大田町の温泉ホテル「奥羽山荘」が1日、新装開館し、記念式典で佐竹知事らがテープカットを行



った。

同ホテルは新型コロナウイルスの影響で今年5月末に閉館したが、食品製造・輸出などを手がける「佐々木興業」（同市刈和野）が、

▲奥羽山荘の再開を祝ってテープカットする佐々木社長（右から3人目）、佐竹知事（同4人目）ら関係者（1日、大仙市で）

経営者だった仙北市の「わらび座」から建物の譲渡を受け、経営を再開。毎月、3日間連続で花火を打ち上げる期間を設け、花火観賞の宿泊プランをアピールするなどして、誘客を図る。

この日、同ホテルで開かれた記念式典には佐竹知事や大仙市の老松博行市長らが出席。佐々木正光社長（70）は「皆さんに助けられ、支えられながら、山荘の仕事がずっと続けていきたい」と語った。